

枚方市 まちづくりワークショップだより

第1回

2014年1月
発行

平成25年12月21日（土）に、第5次枚方市総合計画の策定に向けて、「第1回枚方市まちづくりワークショップ」を開催しました。

ワークショップは市民等29名の参加により、枚方市の魅力や目指すべき将来像などについての意見や提案を行うものです。

当日は、はじめに竹内市長からあいさつがあり、その後、4つの班に分かれて「枚方市の良いところ、悪いところ」について熱心に話し合いが進められました。

【当日の流れ】

- ◇市長あいさつ
- ◇ワークショップの概要説明
- ◇ワークショップ（班別）
 - テーマ「枚方市の良いところ、悪いところ」
 - ・班ごとに意見を出し合う
 - ・各班の発表を行い、みんなで共有する
- ◇今後の進め方の確認



※冒頭の竹内市長のあいさつ

竹内市長のあいさつ（要旨）

『平成28年度からの新たな総合計画の策定にあたり、将来の枚方市をどのようなまちにするか、10年、20年の長い時代を見通しながら描いていきたい。』

市民のみなさんのいろいろな思いを反映させていきたく、ワークショップを立ち上げたので、積極的な意見をいただきたいと思います。

具体的な計画策定に向けては、今後、審議会に諮問して固めていくこととなり、審議会にみなさんの意見を報告していきたいと考えています。』

4つの班に分かれて、「枚方市の良いところ・悪いところ」について意見を出し合いました。



※左から、A班、B班、C班、D班のワークショップのようす

次のページより、各班（A～D班）で整理された意見・提案の内容をまとめています。

A班

良いところ	悪いところ
住みやすさ *住むには良い *なぜか枚方で生まれ育った市民が多い(住みやすいのか?) *大きな災害が少ない *人が落ち着いている *まちの雰囲気が落ち着いている *治安が良い(比較的) *日常の買い物しやすい	施設が未整備 *庁舎内がごみごみしている *施設が古すぎる(学校を含めて) *バリアフリーが不十分 *歴史・文化・芸術の総合施設がまだできていない
文化活動 *地域のイベントが多い *多様な文化活動が活発である	*表玄関である枚方市駅周辺の再開発が不十分である *都市としての基幹整備(インフラ)が不十分
大学 *市内に6大学を有する文化・学芸・医療都市	大学 *6大学の最大利用がされていない *大学生と小中高校生が交流する機会が少ない
福祉 *病院など医療施設が良くなっている *福祉面が充実している	福祉 *ひとり暮らしの人が住みにくい
自然環境 *自然が豊か *自然豊かな部分を有する *自然環境がそこそこ良く、住みやすい	自然環境 *森林や公園が少ない(子どもの遊び場)
交通 *大阪、京都の中間にありベッドタウンとして交通の便利が良い *電車(京阪交野線)に自転車を載せることができればより良くなるのでは	交通 *時間帯により交通渋滞が激しい *道路が狭い(旧住宅地など自転車、歩行者が安全でない)
(行政の取り組み) *府の中では特段に市民の意見を行政が聞いてくれる *広報が分かりやすい	(行政の取り組み) *総合計画の冊子が良すぎる *アピール力は弱い(観光、魅力)(来たいと思うか)
	人の問題(教育) *地域によっては閉鎖的 *学生のマナー *ときどき態度の悪い職員(病院)がいる *事件は現場で起きているのに行政は横につながらない

発表の主な要点

- ・良いところで最も意見が多かったのは「住みやすさ」。枚方出身の人がそのまま枚方に住んでいる、治安がいい、買い物がしやすいなどの意見があった。
- ・良いところで市内に6大学があることがあげられたが、それが最大利用されていないとの意見があった。
- ・病院など医療施設が良くなっているといった福祉面の良さがあげられた一方で、ひとり暮らしの人が住みにくいとの意見があった。
- ・自然環境が良いことがあげられた一方で、地域で差はあるが公園などが少ないという意見があった。
- ・良いところとして、大阪・京都の中間にあり交通が便利との意見があった。
- ・悪いところで施設が未整備という意見が多く、学校などの施設が古い、文化施設がないなどの意見があった。
- ・悪いところとして、交通渋滞が激しい、道路が狭くて安全でないとの意見があった。
- ・悪いところで人の問題があげられ、時々態度の悪い職員がいる、行政が横につながらないなどの意見があった。この問題は教育の充実により変わっていくとの意見もあった。

B班

良いところ	悪いところ
教育環境 *地域と学校がともに連携・協力している *障害をもつ人もともに学び、ともに生きることができている *留学生が多い *若者のまちである（6大学） *6大学の都市であり、教育に力を入れている	インフラ *交通の便が悪い *道路状況が悪い *歩道が狭く自転車とぶつかりやすい *市民が利用するところが、あまりバリアフリー化されていない *JR が不便 *高速がない *災害対策に逼迫感がない *学校外で勉強する場が少ない
交通 *交通の便利が良い（京阪のみ） *大阪と京都の間での利便性	
住環境 *住環境が良い *生活環境が良い（交通、買物、病院） *病院が多い *比較的安心して住める *大阪に近い、自然豊かな 40 万都市 *公園など自然豊かで遊べる場所が多い *自然を残す良い環境 *淀川が存在をもっと活かしたら良いのでは	住環境 *京都、大阪のちょうど中間地。もっと「地の利」を活かせば・・・ *地域差が大きい
市のイメージ *都会の田舎 *歴史的、文化的、(学園) 都市のイメージがあって良い	市のイメージ *都会の田舎 *強いブランドがない *代表的なものがない *これと言って枚方は特色がない *枚方とは・・・という特色・イメージが非常に薄い（反面、上品なまち・・・？） *名産品が分らない
市民参画 *市民参画、市民活動が盛ん	市民参画 *若者のまちづくりへの参加意識が低い *市民活動が見えにくい *自由な反面まとまりが悪い
	企業 *企業が少ない *地元企業の元気がない。撤退したりしている。

発表の主な要点

- ・良いところで教育環境があげられ、6つの大学があり若者のまちであることや障害をもつ人もともに学ぶことができるなどの意見があった。
- ・良いところで京阪本線を中心とした交通の利便性があげられた。
- ・良いところとして、住環境があげられ、大阪に近く自然が豊かである、病院が多く安心して住めるという意見があった。一方で、悪いところとして、地域差が大きいことや、大阪と京都のちょうど中間都市で歴史的なまちであることをもっと活用すればいいのではないかと意見があった。
- ・市のイメージとして、「都会の田舎」という感じがあり、市に代表的なものや特色がないことが悪いところとしてあげられたが、これをうまく活用すれば、立派なまちづくりの材料になるのではないかと意見もあった。
- ・良いところと悪いところの両方に、市民参画があげられ、NPO などを中心に市民活動が盛んとの意見がある一方で、活動が見えにくいことや若者の参加意識が低いなどの意見があった。
- ・悪いところとして、インフラ整備があげられ、道路事情が悪い、あまりバリアフリー化がされていないなどの意見があった。また、地元企業に元気がないという意見も出た。

C班

良いところ	悪いところ
住みやすい *住みやすさ。20年間住んでいて不便を感じたことがない *平均的、全体的にバランスがよい（住みやすい） *住み良いまち。百貨店はなくなったがスーパーが元気 *買物には便利。安価な日用品（日常生活には） *京阪電車、バスがすばらしい *治安の良いまち（京都、大阪の間に良い意味で田舎：平和）	道路整備 *大きい道路が多いが交通状況などが悪い（渋滞） *道路が整備されていないところがある（暗いところ） *道路が狭い（京都、大阪のように直線でない） *自転車には安全な道でない
自然 *自然がある *程良い自然が残しつつ都市化もある程度進んでいる点 *山田池公園 *淀川河川敷がある *河川がある	自然 *主に住宅地域の緑が少ない（公園やくつろぐ場） *自然が少ないのではないかと
市民意識 *市民意識が高いところ *スポーツが盛んなイメージ	市民意識 *行政に頼らずに個人個人で良くしようとする意識が薄い（人口の割に） *国際志向がないところ。外に向かない（特に東京） *競争心のないところ
多様性 *多様性のあるところ *豊かな地域資源	市の特徴 *良いところがないところ *無難（個性がもっとあってよい） *“これ”という芯がないところ *府外からの知名度が低い。枚方＝ひらかたパークとされている点 *近隣市（高槻など）にあらゆる面でおされている感じがする *ベッドタウン化しているところ *頼りないまち。中央にも（言葉）が届かない
きれいなところ *いちょう通りなどのきれいな道がある *きれいなまち（ゴミ分別ができています：市内）	
歴史 *歴史、文化、工業団地 *歴史のあるまち（百済：交野）	資源の活用 *いいところを活かしきれていないもったいない都市
*悪いところがないところ	マナー *枚方市駅の夜の使用状況（スケボー）

発表の主な要点

- ・良いところとして、最も意見が多かったのは、「住みやすいまち」。交通の面、買物の面、安全安心を含めて住みよいとの意見があった。
- ・良いところで自然があるところがあげられ、淀川周辺、山田池公園など自然豊かとの意見があった一方で、身近なところに緑が少ないとの意見が出た。
- ・ソフト面の良いところで、市民意識が高いところがあげられ、スポーツが盛んとの意見がでた一方で、悪いところとして、行政に頼らず個人個人良いところをのぼす意識が少ない、国際的な視点が少ないという意見が出た。
- ・多様性があり何でも受け入れるところが良いとの意見があった一方で、悪いところで最も意見が多かったのは、市の特徴がないところで、これというイメージがない、知名度がないとの意見があった。
- ・ゴミの分別などきれいなまちであることや、歴史や文化を感じられるところも良いところとしてあげられた。
- ・悪いところで道路整備があげられ、交通渋滞や歩行者、自転車が危ない道が多いとの意見があった。
- ・悪いところとして、行政の取り組みや夜の枚方市駅付近におけるマナーが悪いなどの意見があった。

D班

良いところ	悪いところ
寛容、多種多様な人の多さ *いろいろな人が多い *地元の人が比較的多い *大学が多い *大学や学校関係の施設が多く教育分野が充実している *6大学があって、関西外大の留学生が多い *若い人が多い *駅付近が賑わっている	市のイメージ *市の玄関的イメージがない *「枚方（ひらかた）」が難読 *大阪にも京都にも遠い *緑が少ない *夏が暑い *海がない
自然・文化 *歴史、地勢、文化は恵まれている *わりと歴史がある *氷室地区などまだまだ自然が多く残っている *山が近い *自然と都会度のバランスが良い	コミュニティが築かれていない（地域格差） *学校内行事にもっと地域が参加したい *校区の弊害（コミュニティづくりができていない）
住環境 *住みやすいまち *障害があっても地域の学校に通える *行政サービスにより便利 *開業医、病院（大学病院）が多く医療の供給体制が充実している *病院がしっかりしている	都市計画（生活・文化面） *枚方市駅周辺がごちゃごちゃしている *枚方市駅の玄関口の商業（巨大店舗）が撤退してさびれている感がある。雑居ビルの構成 *ホテルがない *文化施設が少ない *文化活動に適した施設が少ない *老人が出かけるところが少ない（ひらかたパークを1回くらい無料で） *医療で、在宅の医師や終末期までみてくれるところは少ない
※上記3項目に関連するもの *芸術・文化活動が盛ん *イベントが多い *ボランティア活動をする環境が十分にある *図書館は便利で読み聞かせやイベントが多い	都市計画（交通アクセス） *文化・スポーツ・公共施設へのアクセスが悪い *道（歩道）が狭い *駅付近の渋滞。道路の数が少ない

発表の主な要点

- ・ 良いところとして、枚方市は「寛容」であることがあげられた。多種多様な人を受け入れており、外国語大学などの大学も多く多民種で、地の人や若い人など年齢層も広いとの意見があった。一方で、悪いところでは、明確なイメージがないことがあげられ、これが枚方というイメージがほしいとの意見があった。
- ・ 良いところで自然・文化があげられ、東部を中心に自然がある一方で、枚方市駅周辺には文化・施設があり、自然もあるけど都会もあるところが良いとの意見があった。
- ・ 住環境が良いこともあげられ、住みやすいまちであり、医療の供給体制が充実しているなどの意見があった。
- ・ 多種多様な人が多く、自然・文化があり、住環境が良いことから、芸術文化活動が盛んで、学生中心のものなどの様々なイベントが多いことにつながっているとの意見があった。
- ・ 悪いところとして、コミュニティが築かれていないことがあげられた。市内に45小学校区のコミュニティがあるが、活発なところとそうでないところがあり、地域差が大きいとの意見があった。
- ・ 悪いところとして、都市計画があげられ、生活・文化面では枚方市駅周辺の商業の撤退や文化施設等の不足、交通アクセスでは交通渋滞や道が狭いなどの意見があった。

各班の意見で主に共通している点

○枚方市は「住環境が良く、住みやすい」

枚方市の良いところとして、住環境が良く、住みやすいとの意見が共通しており、交通、買い物、病院が多いなど安全で安心して暮らせるとの意見が多かった。

○枚方市は「自然が豊か」

枚方市の良いところとして、東部地域を中心に、自然環境が豊かであるとの意見が共通している。ただし、地域によっては緑や公園が少ないとの意見もあった。

○枚方市は「歴史・文化のあるまち」

枚方市の良いところとして、歴史や文化に恵まれているとの意見が共通しており、文化活動が活発であるとの意見があった。

○枚方市は「多様性があるが、特徴がない」

枚方市は、都市的要素と田舎的要素が併存し、「都会の田舎」という感じで、地域資源が豊富で多様性があることが良いとする一方で、市の特徴や明確なイメージがないといった意見が共通していた。

○枚方市は「道路などのインフラが不十分」

枚方市の悪いところとして、交通渋滞が多いことや歩道が狭いため歩行者、自転車が安全でないとの意見が共通していた。

また、市民が利用する施設のバリアフリー化や文化施設が不十分であるとの意見も多かった。



※左から、A班、B班、C班、D班のワークショップの発表内容

ふりかえりシートより

主な意見・感想を紹介します。

【意見・感想】

- 枚方市の悪いところを探すのには少し戸惑った。
- 自分自身としてもいい勉強になった。
- いろいろな意見があって非常に有意義だった。
- 市民の意見が活発に交わされてよかった。
- 幅広い年代の方と話ができて勉強になった。
- 多くの意見を聞いているうちに本当のまちづくりの楽しさが分かった。
- 以前より市の課題になっていることが変わっていないことを行政として意識をしてほしい。
- 市民意識をいかに高めるかの方法を考えたい。
- 各班から、「枚方市は住みやすいが特徴がない」という共通の意見が出されていたことが印象的であった。
- 市民によるワークショップの提言が審議会等へ組み入れられるような形を目指してほしい。

- 自分の意見を前もってまとめておいた方が良かったと思った。
- 意見交換の時間が短かったため、十分に意見が出しきれずに終わってしまった。時間の配分を検討してほしい。
- ワークショップの意見が市長まで届くか心配。
- 「話し合う」場面で論点を整理して話が深まるような場にしてほしい。
- 第三者のファシリテーターは不要ではないか。
- ファシリテーターが入っていることで和やかな雰囲気できてよかった。
- 参加者が平等に意見を出し合えるように進めてほしい。

【編集・発行】枚方市 政策企画部企画課

TEL : 841-1221 FAX : 846-5341

Email : kikaku@city.hirakata.osaka.jp